

# 夢窓幼稚園通信第15号

2016年 5月 31日

みなさん 5月の風はいかがでしたか？

5月のおひさまは、空は……？

世界中で、日本の様々なところで、いろいろなことが日々生じています。天災も戦争も起き、続いています。

避難生活をせざるを得ない人々、自分の国や土地に災害や事故によって住むことができないでいる人たちもたくさんです。

私の前を通り過ぎるこの風が流れていく、そしておひさまがいつでも恵みの光をあまねく注いでくれる……、今のことつながっている大地と空の間で、私が気がつかない知らないことも含めて、たくさんの方が生まれています。

よろこびにあふれていることも…、目を伏せたいくなるようなことも…。

どうぞ希望をもって、世界中の「私」たち一人ひとりがそれぞれらしく生きることが出来ますように！

6月がやってきます。

もうすぐ雨の季節です。あと10日もすると続けて雨が降るかもしれません。

雨降りの日には、雨の中にはいって存分にその世界を味わうのみと、雨を感じつつもその時ならではの静けさの中でじっくりと部屋の中にこもるたのしみとがあります。

ぱらぱらと降る雨の中を、少しくらい濡れながら散歩したり遊んだり、傘をさして長くつをはいての探険もわくわくです。

雨つぶが落ちてくるのを時には時間を忘れて眺めているのも、これまた乙なものです。大きな木の下に守られながら葉っぱに当たって雨音を立てるのに耳傾けるのも素敵です。

いくらでも魅力的なことを体験することができるでしょう。

反対に雨をチャンスに与えられた時間、内なる世界を存分に旅するのも面白いです。

自分や今の状況を何かに見立てて想いめぐらしてみるのは絶好の時間です。

日曜日などで外に出られない雨降りの時に、本棚を前に  
雨音のまゆ玉に包まれるようにして、一冊へこれまで出会って  
きたその本の背景を思い返したり、今まで縁のなかった本の  
背表紙に集中していると、不思議なことに、声のない声が  
流れてくるようでした。

どうも本たちが何やらささやいているようでした。  
あわただしくもなく、競い合っている様子でもなく、静かに  
何事かを伝えようとしてくれている、語りかけに来てくれたのもし  
れません。

「世界史を勉強しようよ！」って、「この詩よんだ？」  
いいよ！」「今このこと気になるでしょう！」……  
こんなふうなのも雨の日のたのしみです。

雨の季節……子どもたちも雨の中に、自分の中に大冒険を  
するのかな!?

たくさん出会って たくさん夢見て 大きくなあれ!!

雨が降る空と大地の間 = 母なる地球は、一人の「私」の  
心の内とも深くふかくつながっているのでしょう。

6月……雨の季節、空が少しネズミ色になるかもしれま  
せんが、一人ひとりの「私」が深く外なる世界と内なる心の  
世界に結びを作ることで、「希望」を世界にまたひとつ  
点すことが出来ますように!

園長 弁光 泰雄

